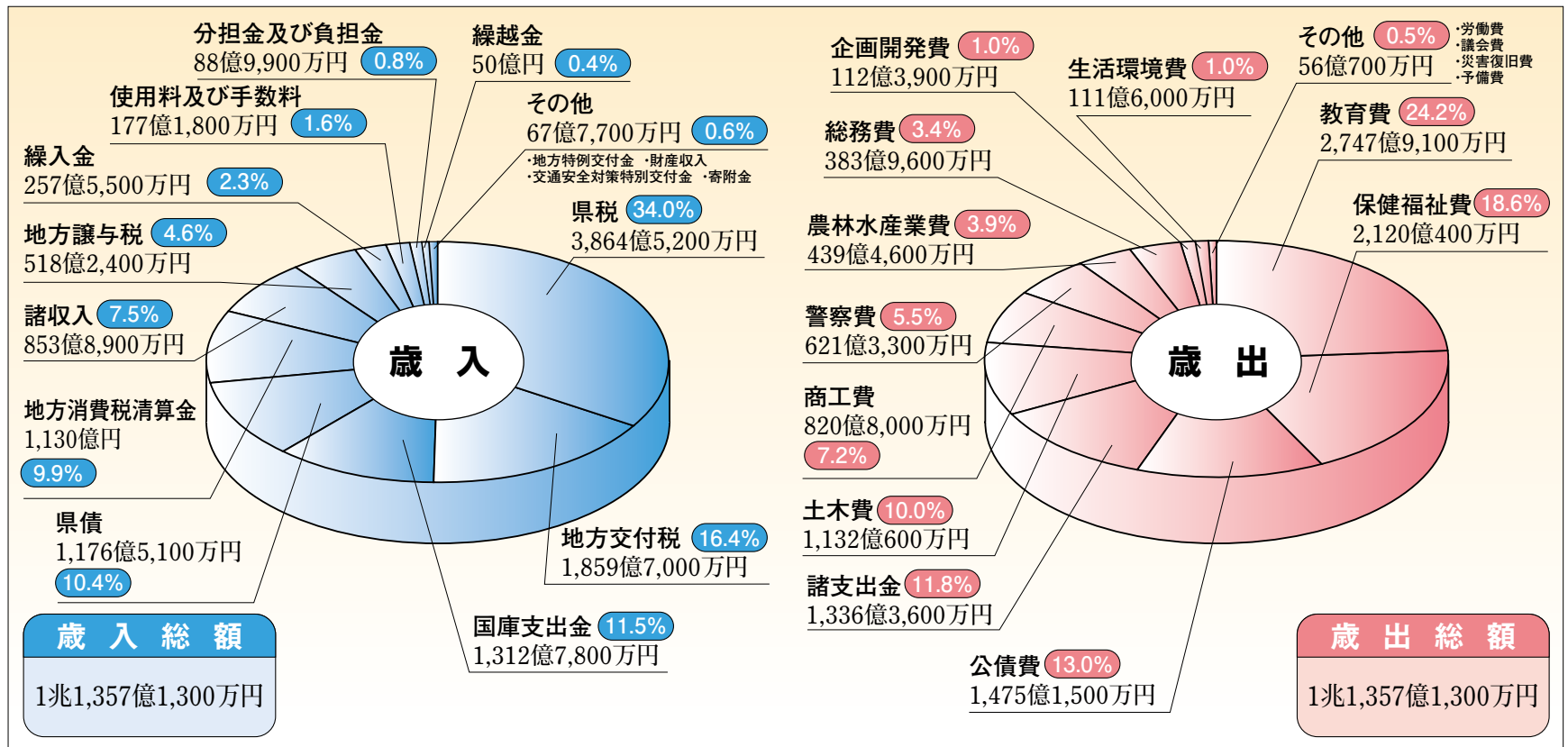


平成31年度一般会計予算※3の内訳



主 な 事 業

1 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

- 次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業
IoT・AIなどの新たなテクノロジーを活用した新ビジネス創出支援 1億500万円
- つくば創業プラザ分室整備関連事業
ベンチャー企業の創業促進と利便性向上を図るためのインキュベーション施設の整備・運営 9,200万円
- つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト事業
東京圏のフリーランスIT人材などと県内地域をつなぐプラットフォームの構築 8,800万円
- 外国人材活躍促進事業
外国人材を確保するための外国人材支援センター(仮称)の設置 7,500万円
- わくわく茨城生活実現事業
東京圏から本県への移住者に対する移住支援金の支給 5,100万円
- いばらきグローバルビジネス推進事業
海外販路拡大などにチャレンジする中小企業・農業者に対する支援 2億1,500万円
- いばらき農林水産物トップブランド育成事業
本県産梨・豚肉のトップブランド化に向けたPRの強化 5,500万円
- いばらきオーガニックステップアップ事業
県北地域における大規模有機モデル団地の整備に対する支援など 1億700万円
- 市町村森林整備等バックアップ事業
森林環境譲与税を活用した森林の経営管理を行う市町村への支援 5,200万円
- ICTを活用した業務改革推進事業
RPA※1やAI導入による県庁業務の効率化・省力化の推進 6,800万円
- 庁内保育所設置運営事業
県職員の働き方改革を推進するための庁内保育所の設置・運営 7,300万円

2 「新しい安心安全」へのチャレンジ

- ICT活用による医療体制強化支援事業
遠隔治療サポートシステムおよび遠隔画像診断治療補助システムの導入支援 7,300万円
- 県外からの医師確保強化事業
医科大学との新たな協力体制の構築や寄附講座設置などによる医師の確保 2億400万円
- 地域医療支援センター事業
地域医療支援センターの運営による医師キャリアの形成支援など 1億1,700万円
- 介護人材確保育成事業(チャレンジ・シニア参加促進事業分)
介護分野において働く意欲のあるシニア層に対するOJT研修の実施 2,000万円
- 重度心身障害者医療費助成事業(拡充分)
医療費助成の対象に精神障害者保健福祉手帳1級保持者を新たに追加 1億2,300万円
- 茨城助け合い運動推進事業
地域課題の解決に向けた取り組みを行うNPOなどに対する支援など 6,100万円
- 警察署等建設整備事業
老朽化した太田警察署の移転建て替えに向けた基本設計など 2,900万円
- 防災対策調査・普及啓発等事業
避難用バスなど配車オペレーションシステムの開発、市町村広域避難計画の策定支援など 1億2,800万円

3 「新しい人財育成」へのチャレンジ

- 県立高等学校改革プラン推進事業
県立中高一貫教育校10校を設置するために必要な教室などの整備 6億3,600万円
- 図書館魅力向上推進事業
県立図書館のサービス向上のためのネット予約貸し出しサービスやカフェスペースの整備 3,400万円

- 多子世帯保育料軽減事業
第3子以降で3歳未満の子どもの保育料に対する軽減措置における所得制限の廃止 5億7,100万円
- 施設型給付費負担金
認定こども園などの利用料無償化に係る経費や運営費の支援など 129億円
- 子育て支援施設等利用給付費負担金
認可外保育施設などの利用料無償化に係る経費の支援など 4億700万円
- 児童相談所の運営強化関連事業(茨城県子どもを虐待から守る条例対応分)
児童相談所への職員配置の増などによる児童虐待対応体制の強化 3,600万円

4 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- 茨城県フラワーパークリニューアル関連事業
フラワーパーク魅力向上計画に基づく観光拠点としてのリニューアル工事など 1億9,900万円
- 県北ニューツーリズム推進事業
県北地域に点在する多様な地域資源をつないだ新しい滞在・体験型ツーリズムの推進 1,000万円
- いばらきサイクルツーリズム等推進事業
各地域の特色を最大限に生かしたサイクルツーリズムの全県的な推進 1,200万円
- 県民文化センターコンベンション機能強化事業
県民文化センターの利用率向上や地域活性化のためのコンベンション※2機能強化 2億9,900万円
- 県庁舎維持管理事業(県庁舎展望ロビー改修分)
行政棟展望ロビーのより一層の利活用促進のための改修 6,100万円
- 全国都道府県対抗eスポーツ選手権大会事業
全国初「都道府県対抗eスポーツ大会」の本県予選会および本大会の開催 4,000万円
- 都市間高速バスネットワーク強化事業
水戸・つくば両都市間の交流・連携の活性化に向けた高速バス増便実証実験 5,800万円

※1【RPA】…Robotic Process Automationの略語。ソフトウェアロボットを活用することにより、業務の効率化を目的として、定型的な事務作業を自動化すること。
 ※2【コンベンション】…学会や産業団体、行政機関等が開催する国際会議などの大規模な会議や人の集まりのこと。
 ※3【平成31年度一般会計予算】…本号は4月28日発行のため、改元日以降は「令和元年度」となる。